

第6回平成屯田兵ツアーを終えて

隊長 古賀 恵美子

「新緑のふるさとに植樹で足跡をつけてきました」

3. 11の震災以後各種イベントの自粛ムードが広がる中、「こんな時だからこそ、ふるさととの架け橋として、足跡をつけることを続けてきたイベントはやろう！」と大いなる決断をしてのツアー決行でした。

6月3日（晴れ…気温11度） エアドウの飛行機は23名の参加者を乗せて旭川に到着。

今年は一昨年と同様に旭川入りしバスで北見に入るという行程です。

一昨年は市町村合併後の新北見の距離を体感しようとのことで石北峠からオホーツク海までの北見を見てきましたが、今年は人気の旭山動物園や旭川の酒蔵「大雪乃蔵」でお酒の試飲という楽しみを組み込み、留辺蘂に入るコースでの北見入りをしました。



旭山動物園のオキナギモン

旭山動物園はその創意工夫と珍しい動物たちに惹き込まれました。

オランウータンの器用な動き、白くまたちのラブラブ、アザラシがドーム水槽に入ってきたり、ペンギンが水の中を飛ぶように泳いでいたり、すぐ目の前にトラの顔があつたり、また来たいと余韻を残して、お昼をかねたお酒試飲の大雪乃蔵に。

外の景色は例年より3週間近く遅い（いつもは5月上旬）こともあり、新緑ときれいに耕されたこげ茶色の土の色とのコントラストがとても美しかったです。すでに玉ねぎやジャガイモの植付けはすんでいて、整然と植付けされた広大な畑や雄大な大地をながめ、「ああ・・・北海道はいいなあ」と心が洗われる最高の景色に目も心も奪われました。

温根湯の道の駅に寄った時は鳩時計「果夢林」が3時の時報を告げるタイミングとバッチリ重なり、世界一といわれる大きな鳩に出会ってきました？！



今年の足跡は植樹です。河西ぼたん園にて全員が自分の立て木に名前を書き今年の足跡を残してきました。

その後、間もなく移動してなくなってしまう「北見市役所」を表敬訪問しました。かなり年季が入っている建物でしたが、ツアーに参加の中には懐かしの思い出も残っている建物でもあり、なくなることは複雑な思いもある様子。

陽も落ちツアーの締めくくりは、楽しみにしていた北見ふるさとのみなさんとの懇親会です。

今年もオホーツクビアファクトリーでの懇親会でしたが、北見市のみなさんの「おかえりなさい」との垂れ幕をかかげての歓迎に感激です。

東京北見会の北見支部のみなさんの周到な準備で北見の食材の美味しい料理・美味しいビール。小谷市長はじめ北見支部の吉田支部長からの歓迎の言葉をいただき、馬場副支部長の進行で楽しい懇親会でした。

恒例の「北見のひとよ」「お元気ですかーオホーツク恋しー」の大合唱で心ひとつとなった楽しい時間はあっという間に過ぎ、また来年再会の約束をして終了しました。

6月4日はオプショナルツアーで、阿寒湖、北見近隣のハーブ園まで足を

のびしました。途中、道端の木々でバスが通れず、木を切るなどと屯田兵らしい開拓もどきの体験まで出来ました。

今回はまだゆつくりと足を入れていないところへの開拓や遊びも組み入れたプランを楽しみにしたいなどおもし、次期の隊長にタッチします。

行程企画から当日の添乗諸々では北見市役所観光振興課の三上さん・永山さんにはとてもお世話になりました。来年も北見市との連携で楽しいツアーとしたいと思いますのでたくさんの方々のご参加をお願いします。

